

◆平成22年度の主な取り組み

ネットワークの 着実な整備

- 東海線建設工事の促進：平成24年度末までの全線供用を目指す
山王JCT～西郊通間(約3km)を平成22年夏頃供用予定

渋滞対策の 推進

- 大高線の渋滞緩和：平成23年度内完成を目指し高辻入口・堀田入口の合流車線
延伸工事の促進
- 大高線の利用交通の分散：東海線建設工事の促進

交通事故対策 の推進

- 交通管理体制の強化：夜間のパトロール班の拡充

環境対策の 推進

- テレビジョン受信障害対策：東海線建設工事に併せ実施

◆平成22年度予算の概要(1)

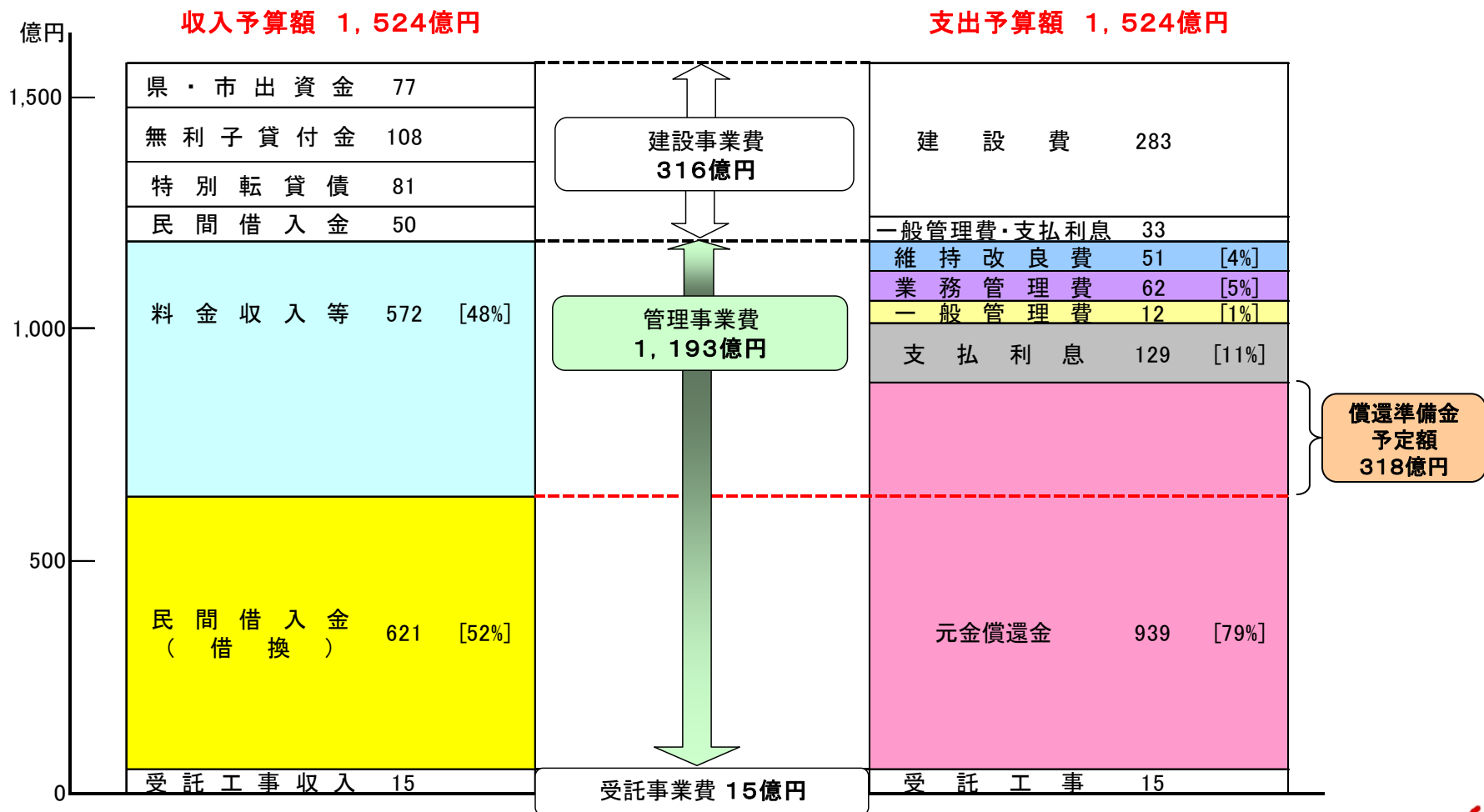
(単位:百万円)

区 分	収 入				支 出			
	科 目	H22予算額(A)	H21予算額(B)	(A)／(B)	科 目	H22予算額(A)	H21予算額(B)	(A)／(B)
建設事業費	県・市出資金	7,660	9,871	77.6%	建設費	28,327	37,427	75.7%
	無利子貸付金	10,820	13,961	77.5%	一般管理費	1,981	2,162	91.6%
	特別転貸債	8,140	10,579	76.9%	支払利息	1,292	1,311	98.6%
	民間借入金	4,980	6,489	76.7%				
	計	31,600	40,900	77.3%	計	31,600	40,900	77.3%
管理事業費	料金収入	53,733	62,085	86.5%	維持改良費	5,150	5,150	100%
	民間借入金(借換)	62,118	69,922	88.8%	業務管理費	6,158	7,728	79.7%
	雑収入	3,478	160	2,174%	一般管理費	1,244	1,343	92.6%
	※社会実験減収補填金	3,303	—	皆増	業務外支出	106,772	117,941	90.5%
	その他	175	160	109.4%	元金償還金	93,894	104,864	89.5%
					支払利息	12,878	13,077	98.5%
					予備費	5	5	100%
計	119,329	132,167	90.3%	計	119,329	132,167	90.3%	
受託事業	受託工事収入	1,445	2,077	69.6%	受託工事費	1,445	2,077	69.6%
合 計		152,374	175,144	87.0%	合 計	152,374	175,144	87.0%

※ 社会実験減収補填金は、土日祝日料金引下げ社会実験による減収分に対する愛知県・名古屋市からの補填金



◆平成22年度予算の概要(2)



【注】 []は管理事業費における構成比

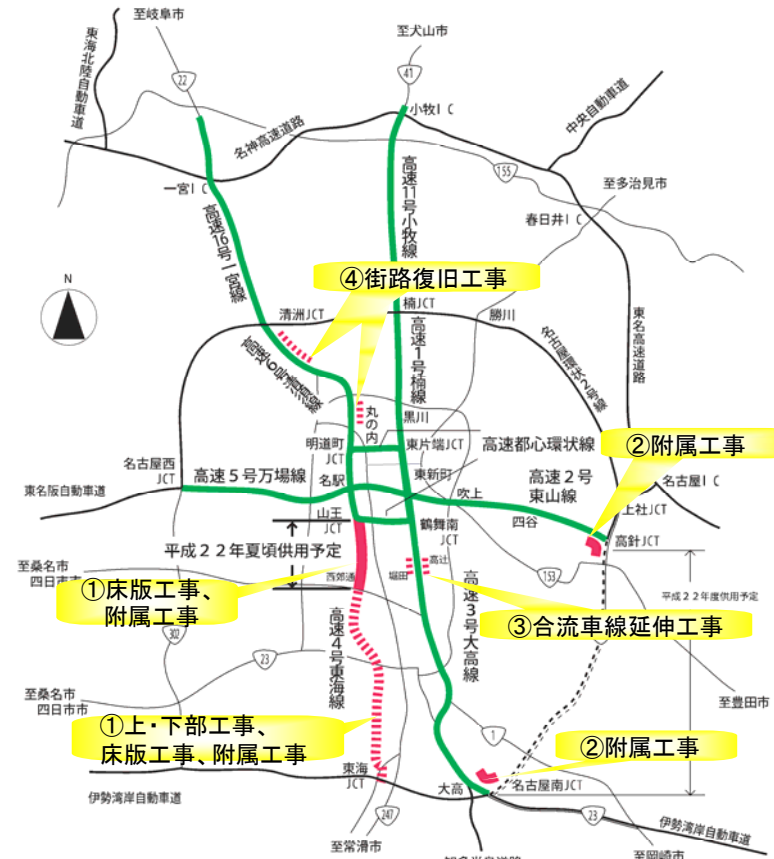
◆ 平成22年度建設事業費の概要

平成22年度建設事業費
316億円(前年度比77.3%)

【事業計画】

- ① 高速4号東海線（山王JCT南渡り線を含む） **約284億円**
 →山王JCT～西郊通間を平成22年夏頃、残る西郊通～東海JCT間を平成24年度末までの供用に向け、鋭意工事を実施する。
- ② 高速2号東山線、高速3号大高線 **約5億円**
 →高針JCT、名古屋南JCTにおいて、名古屋環状2号線東部・東南部（平成22年度供用予定）とのネットワーク形成のため、渡り線の工事の完成を図る。
- ③ 高速3号大高線 **約2億円**
 →高辻入口・堀田入口の合流車線延伸工事を実施する。
- ④ その他 **約25億円**
 →高速6号清須線街路復旧工事等を実施する。

平成22年度 施工箇所図



凡 例	
——	供用区間
⋯⋯⋯	工事施工箇所
——	工事施工箇所 (平成22年度供用)